

マルシェの開催で
中心市街地の活性化を実現

～三条マルシェについて・空き店舗対策について～

三条市の「三条マルシェ」について調査視察を行った。「三条マルシェ」はおもに中心市街地の活性化と空き店舗対策に繋がる取り組みである。商店街の活性化には、

新潟県三条市



ものづくりのPRをかねた公用車

空き店舗に継続経営ができる新規事業者を育成することが必定的視点から、創業塾を開催するなど工夫をこらしていた。わが町の活性化の参考とした。

積極的な取り組みで
企業立地促進へ

～企業誘致について～

新発田市では、企業立地促進のための助成や雇用促進助成など、積極的な各種施策の取り組みで工業団地の設置に繋げ成果を上げていた。また、雇用確保・維持のため、

新潟県新発田市



企業誘致のために整備された用地の現地視察

地元工業高校に対し学校訪問・企業見学などの実施、市内の大学とも連携しICTの導入についての研究を重ねていた。わが町としても参考とし、企業誘致促進を図るべきと考える。

「日本一災害に強いまちづくり」を目指す
～災害情報の伝達について～

長岡市では平成16年の中越大地震等の経験により、「日本一災害に強いまちづくり」を目標とした防災体制の強化に取り組んでいる。災害対策本部の機能強化、災害情報伝達体制の整備をはじめ、長岡市の取り組みは大変現実的であり、大いに参考とすべきである。わが町の実態に合った取り組みを研究・検討し、具体的に進めていくべきと考える。



市役所常設の災害対策本部室での研修

新潟県長岡市

民間サービスの手法を実践した子育てサービス
～切れ目のない子育て支援について～

和気町の子育て教育施策は電動アシスト付き自転車（幼児2名）、英検に特化した公営塾、英検合格者への報奨などユニークな事業を行い、また、魅力的で見やすいホームページなどPRにも工夫がなされている。実現の背景には、国の施策を活用して民間企業の派遣社員を職員採用し、そのアドバイスを受けて、各課が民間的な発想で取り組んだことが大きい。さらに、現在、他府県からの移住者が徐々に増加している点も見逃せない。委員会では和気町の施策の一部導入について検討するよう提言した。



岡山県和気町

産・官・学で
学力向上施策を实践

～ICTを活用した学力向上対策について～

市は学力向上に向け、産（ベネッセコーポレーション）・学（岡山大学大学院）と提携しICT教育をいち早く導入した。現在、学力は穏やかに向上しているとのことだが、背景には、ICTにより現状の学力の状況が見えることや、学力テストを年2回、同一集団で行うことで、生徒の習熟度を三者が共通認識できることが大きいとのことである。なお、市はインターネットに接続されていない家庭でもタブレットが使用可能なように民間と共同開発まで行っていた。委員会では、町独自の同一集団による学力調査の実施とICTに向けた財源の確保を提言した。

岡山県備前市



楽しいイベント満載の高齢者施策
～おのみち幸齢プロジェクトについて～

市の高齢化施策のコンセプトは「高齢を楽しむ」である。例えば、学校の空き教室で給食を食べる「学校給食へ行こう！」景品付きのスタンプラリー「目指せ！ウォーキング（KING）！」など8事業が実践されている。「健康づくりは楽しいイベントの付加価値である」という発想はわが町も取り入れるべきと感じた。また、こうした施策が税金をほとんどかけることなく実践されていたことは特筆する。わが町も、遊び心満載の高齢者施策の実現を委員会として提言した。



広島県尾道市